



外国出張報告書

平成 27 年 10 月 29 日

1. 出張国名 ガーナ

2. 出張月 平成 27 年 9 月～10 月

3. 出張目的

ため池現況調査、実証試験ほ場管理、テクニカルコミッティーの開催(アフリカ稲作普及)、供試体の動的・静的試験、現地試験区での試験実施、低コスト水利施設に関するワークショップの開催、JIRCAS アフリカ稲作振興プロジェクトワークショップへの参加(低コスト水利施設): B

4. 成果の概要

(アフリカ稲作普及)

北部州での実証調査において、補給かんがいを実施するためのサイフォンの試験を実施するとともに、ほ場の均平度調査を実施した。また、子池法面の被覆状況について調査した。7月の降雨で被害を受けた水路の補修を実施した。アシャンティ州での実証調査について KNUST と合同で候補地の現地調査を実施した。また関係機関とテクニカルコミッティーを開催し、調査内容・方針について協議した。

(低コスト水利施設)

前回の出張時に試験を開始した動的耐侵食試験についてモニタリングを行った。また現地水路に適用するための大型ブロック供試体の作成を行い、試験水路への敷設を行った。試験結果を補完するため、小型供試体を作成し静的試験を実施した。中期計画のしめくくりになる JIRCAS アフリカ稲作振興プロジェクトワークショップへ参加し、5年間の成果の発表を行った。なお、低コスト水利施設に関するワークショップは相手機関の都合により年明けに実施することとなった。